

令和3年（2021年）4月21日開会

令和3年（2021年）第5回

茨木市教育委員会定例会

会 議 録



茨木市教育委員会

◆ 令和3年4月21日（水）第5回教育委員会定例会を南館10階大会議室で開催した。

◆ 出席委員

教 育 長	岡 田 祐 一
教育長職務代理者	武 内 由紀子
委 員	篠 永 安 秀
委 員	堀 村 佳奈子
委 員	前 川 佳 之

◆ 本委員会に出席した者

教育総務部長	小 田 佐衣子
教育政策課長	辻 田 新 一
学 務 課 長	中 坂 有 希
施 設 課 長	浅 野 貴 士
社会教育振興課長	松 本 栄 子
歴史文化財課長	木 下 典 子
中央図書館長	吉 田 典 子
学校教育部長	加 藤 拓
学校教育推進課長	青 木 次 郎
教 職 員 課 長	岩 城 大 将
教育センター所長	新 川 正 知
こども育成部長	山 寄 剛 一
保育幼稚園総務課長	中 路 洋 平

◆ 署名委員

委 員	堀 村 佳奈子
-----	---------

(令和3年4月21日(水)、午後2時00分)

議事日程 (令和3年第5回茨木市教育委員会定例会)

(於：市役所南館10階大会議室)

日程	議案番号	件名	摘要
1		会議時間の決定について	
2		会議録署名委員指名について	
3		会議録の承認について	
4		諸般の報告について	
5	請願1	小・中学校の保健室において生理用品の無料配布を行うこと等を求める請願について	
6	15	中学校給食推進チームにおける職員の兼職に関する協議について	
7	16	職員人事について	
8			
9			
10			
11			

(1 4 時 0 0 分 開 会)

岡田教育長

それでは、ただいまから令和3年第5回茨木市教育委員会定例会を開会いたします。
本日は委員会を傍聴したいとの申し出がありますので、ここで入室していただきます。
それでは傍聴者を入室させてください。

(傍聴者入室)

岡田教育長

本日の出席者は5名でありまして、会議は成立いたしております。

なお、本委員会には部長以下、説明員の出席を求めています。

これより本日の会議を開きます。

日程第1 「会議時間の決定について」を議題といたします。

お諮りいたします。

本日の会議時間は、午後4時までといたしたいと思いますが、異議ございませんか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

異議なしと認めまして、本日の会議時間は午後4時までと決定いたします。

日程第2 「会議録署名委員指名について」。

本件は、茨木市教育委員会会議規則第17条の規定により、堀村委員をご指名申し上げますので、よろしく願いいたします。

日程第3 「会議録の承認について」を議題といたします。

「令和3年第2回茨木市教育委員会定例会会議録(案)」についてお諮りいたします。

異議ございませんでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

異議なしと認め、「令和3年第2回茨木市教育委員会定例会会議録（案）」については、承認することといたします。

日程第4 「諸般の報告」を行います。

小田教育総務部長が報告

岡田教育長

以上の報告について、質問はございませんか。

武内委員

3月6日の深見遺跡現地見学会の深見遺跡について、簡単に説明していただけますか。

木下歴史文化財課長

深見遺跡は、本市の新施設建設に伴い発見された新しい遺跡です。この深見という名前は、この土地の小字である深見というところから採られています。

武内委員

年代的にはどれぐらいのものですか。

木下歴史文化財課長

時代としましては、主に弥生時代の遺構・遺物が発見されております。

前川委員

同じく3月6日の見学会について、参加者335名ということで、結構な人数ですが、新型コロナウイルス感染対策として、こういった工夫をされたのか教えていただけますか。

木下歴史文化財課長

3月6日は、緊急事態宣言が解除されて間もない状況でありましたので、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、大阪コロナ追跡システムを導入し、登録をお願いしたり、その登録が難しい人につきましては連絡先の記入をお願いいたしました。また、

展示空間をできる限り広くとるなどの工夫を行いました。

篠永委員

新型コロナウイルス感染症の第4波に伴う緊急事態宣言を大阪府が国に要請をしているという現状にあって、茨木市もこれにもれず、感染の場の拡大があるというところですが、発出以降はもとより、今から行事を開催するに当たって絶好な季節ではあるのですが、より一層の感染拡大の防止に取り組んでいただきたいなと思っております。

いろんな行事を止めるというのではなくて、創意工夫によりできるだけ感染予防のランクを上げていく取組の姿勢が大事と考えています。例えば、この資料にあるように土曜科学教室なども可能であればウェブのようなもので実施できたらいいのですが、こちらは主には実験をしているものであり、実験というのは目で見たり、音を聞いたり、触ったりして感じるということが必須になりますが、子どもたちが寄って顔を突き合わせるというところが駄目だと思いますので、それぞれの机の上でできるような展開方法が可能なテーマを扱っていただければ、ある程度可能なのかなとは思いますが。あと一番心配なのが、青少年野外活動センターでのキャンプの行事などを進めていく際の実取組、もちろん検温などはもとより、手洗いをしっかりしながら、野外だけどもみんなが集まるような場面ではマスクは必ず着けるとか、キャンプ場なので大声で叫びたいところですけど、黙食を徹底していただくとか、いろんな取組方があると思います。そして、ある程度人数を絞るか、一律にやめてしまうのがいいのかどうかというところは、ご検討いただきたいと思っております。

武内委員

今の篠永委員のお話とも関連すると思うのですが、このフォローアップ読み聞かせ講座や、おはなし会は、やはり人の生の声でおはなしをすとか読み聞かせをすとかいうことで、とても有意義なことだと思います。もちろん画面を映して、それで見せるという方法もいろいろあるとは思いますが、やはり人が人に語りかける、その場の雰囲気を見ながら進めていくというようなことが、とても大切だなと思っております。この写真を見ていると、間隔も十分とって、対策をきちんとされているので、いいなというふうに思いました。

今回このように写真を見せていただけたので、良いなと思えました。こんなところに集まっていいのかなと不安に思う人もいると思うので、こういった写真を市のホーム

ページにも載せて、こういう取組をされていて、こういう感じだからできますということを示すことで、参加者が増えるということを期待しています。写真の活用についてはどうでしょうか。

吉田中央図書館長

フォローアップ読み聞かせ講座は、久々に実施しましたので載せさせていただきます。おはなし会については定期的に行っているため、資料等を付けないことが多いのですが、武内委員のおっしゃるとおりで、実施するときにはこういう対策をしていますという写真は、ホームページ等でも使えると思いますので、活用していきたいと思います。

岡田教育長

ほかはどうでしょうか。

堀村委員

3月6日の青少年健全育成研修会については、どのような内容だったかお聞かせください。

松本社会教育振興課長

青少年健全育成研修会の内容についてですが、地域の青少年健全育成に関わってくださっている皆さんを対象にいたしまして、青年期の心の特徴や自尊感情を育む関わり方等をご講演いただきました。当日は、オンラインのZ o o mでの参加と会場参加という形で実施をさせていただきました。

参加された方々からは、地域で青少年に関わる中において、青少年の心の特徴や自尊感情の低い子どもたちへの関わり方などのためになるお話をいただけたというような感想を寄せていただいています。Z o o mで参加した人からの質問や感想は、その都度、チャットでいただくという対応で実施いたしました。

堀村委員

オンラインでの開催は今回初めてではなくて、何回もされているのでしょうか。また、Z o o mでのやりとりということで、特に問題はなかったのか教えてください。

松本社会教育振興課長

会議等で、Z o o mを使用することもあるのですが、研修会等でこのように大人数で行ったのは、本課としては初めてでした。事前の調整の際に、最初は音のハウリングなどがありましたが、開催のときにはスムーズに行うことができ、大きなトラブルもなく終了できました。

堀村委員

ありがとうございます。今後もよろしく願いいたします。

武内委員

3月20日と21日のプチ体験！キャンプ教室とボランティアキャンプは、1泊2日で実施されたのでしょうか。あと、コロナの感染防止対策については、どのようなことに留意されたのか教えてください。

松本社会教育振興課長

両日のキャンプにつきましては、野外活動センターがちょうど冬季期間を終えて3月20日からオープンするというので、それに合わせて主催事業を打ったものです。この期間はまだ日帰りのみの利用ですので、いずれも日帰りで実施しております。

キャンプ場の感染対策といたしましては、各キャンプ場の定員を通常の半分にしており、また、各テントやロッジの定員を5人までにしております。基本的な感染防止対策のほか、職員やキャンプカウンセラーが声をかけながら、人と人との距離をとるようにしたり、活動のときにもマスクの着用などをお願いするといった対応をしています。

武内委員

参加者はプチ体験が63人で、ボランティアキャンプが38人ということですが、どういった年齢層でしょうか。

松本社会教育振興課長

ボランティアキャンプですが、今回は3月20日が中学生コース、3月21日が高校

生コースということで実施をしまして、各コース定員30名で募集しました。

武内委員

プチ体験は、どのような方が参加されたのですか。

松本社会教育振興課長

小学生とその保護者が対象で、各プログラムを1時間半ぐらいのコースにしまして、1グループ4、5人程度の少人数のグループを各コース8組ほど募集いたしました。また、コースは1日それぞれ4回設けました。

前川委員

全般に関して、できればそれぞれの行事について、もう少し詳しく分かるような別紙の資料を付けていただければ、今のような質問をする必要もないのかなと思います。

また、今回の報告には写真があったので、やはりよく分かります。なので、ぜひ当日の様子写真は、例えば顔が映るといけないとか、いろいろ配慮すべきこともあると思います。お願いしたいと思います。

あわせて3点目に、せっかく作っていただいた資料ですから、これをホームページに掲載する等により、広く市民の方に、こういったことをやっているということをぜひPRしていただきたいと思います。

岡田教育長

ありがとうございました。事務局でまた検討をよろしくお願いします。

小田教育総務部長が報告

岡田教育長

報告は終わりました。何かご質問はございますか。

それでは、以上をもちまして、諸般の報告を終わらせていただきます。

議事の途中ではありますが、暫時休憩をいたします。関係者以外の方の退室をお願いいたします。

(関係者以外退室)

岡田教育長

それでは、再開いたします。

日程第5 請願第1号「小・中学校の保健室において生理用品の無料配布を行うこと等を求める請願について」を議題といたします。

提案者の説明を求めます。

小田教育総務部長

請願第1号の内容につきまして、説明を申し上げます。

本請願は、令和3年3月29日に山下慶喜氏より茨木市教育委員会あてに提出されたものであります。

請願の内容につきましては、コロナ禍における困窮や、家族との間の問題等により生理用品を買えない女性に対し、小・中学校の保健室において生理用品の無料配布を行うこと及び小・中学校、社会教育施設の女子用トイレに生理用品を順次設置することを要望する請願でございます。

以上、よろしくご審査賜りますよう、お願い申し上げます。

岡田教育長

事務局の説明は終わりました。

続きまして、請願者から説明をお聞きしたいと思います。発言に当たっては、請願の趣旨の範囲内とし、10分以内で説明をお願いいたします。

また、本日は請願者の意見を聞く会議でありますので、請願者の方から質疑することとはご遠慮願います。

請願者（山下慶喜氏）

私の請願につきまして審査いただくということで、本当にありがとうございます。今回、私も含めて、ちょうど200名の方の賛同署名をいただきまして、先ほど事務局に提出させていただきました。

内容については、今ご説明があったとおりでございますけれども、なかなか大変な状況があるのだということ、私もこの1か月、2か月の間に痛感いたしまして、文教

の委員会でも質疑をさせていただきました。教育委員会に請願という形で出すことで、教育委員会全体の問題としてこのことを考えていただければなと思っています。

請願書類の中で書いておりますが、女性に対する負担が非常に大きいということです。初潮から閉経に至るまで約40年間、生理と付き合わないといけません。1か月で平均4、5日ということだと思いますと、生涯の間に生理の期間というのは、通算で7年近くになり、これは男の私たちには想像がつかないぐらいに、大変な身体的あるいは精神的な負担になっているのではないかなと思っています。女性がどうしてこういった状況にあるのかということについて、男性は、ほとんどが無理解に近いようなこともあるのではないかなと思っております、やはり女性だけが強いられている負担に対して、社会として、あるいは男性として何らかの手だてが要るなというふうに思っています。

最近、貧困問題が言われており、特に女性の貧困、女性の体調による生理の貧困もあるかなと思っております。先日、教育委員さんに対しては、この生理の貧困に関する資料を郵送でお届けしました。資料でいいますと、NHKの調査で、全国の自治体による支援ということで、群馬県から、兵庫県に至るまで各自治体の取組を書かせていただきました。内容的には、東京では非常に多いわけですがけれども、先日、大阪の河南町の女性議員と話をしましたら、うちの方でも取組がはじまっているというようなことを聞いたので、ここに書かれている以外にたくさん取組が始まっているのではないかなと、私は思っております、今回、ネット上で拾えるものは拾ったのですがけれども、全部拾えているわけではありません。

資料の中で、上智大学教授の水島先生が、最近よく聞く生理の貧困という言葉について、ネット上の記事で扱うわけですがけれども、4月6日のNHKのクローズアップ現代、これがさらに問題を全国的に広める大きな影響といたしますか、そういったきっかけになったのではないかなと思っています。この水島先生が書いたものをプリントして見てみますと、NHKだけでなく各民放、テレビ局で大きく取り上げているということ、それから、その記事の中に、生理用品を買えるか買えないかで、ここまで人を惨めな気持ちにさせてしまうのだとしたら、それは一種の人権問題とも言えるテーマだと、番組を見て感じたという感想が書かれています。そして、考えてみれば、多くの公共施設や学校のトイレにトイレットペーパーは無償で備えられている、女性の生理も男性の排泄も同じように、人間の生理として平等に考えるべきではないかという問題提起は確かに説得力があるものだったと書かれておりました、私も全くそうだ

など思っています。

文教の委員会では、生理用品を持ってきていなくて、急に必要になった児童生徒に対しては、保健室で配布をしておりますという、堤学務課長の答弁がありました。それを受けて、教育長も必要な児童生徒に対しては学校の中で対応させていただくということで考えておりますという丁寧なご答弁をいただいたわけです。予算措置をする市長のほうについては、まだどういうことなのか定かでないので精査をしたいという旨の答弁がありました。

貧困の問題については、大人は、自分で主張ができるわけですがけれども、子どもたちはなかなか主張ができません。親が貧困で、生理用品が手に入らない子どもたちもたくさんいると思います。声をなかなか上げにくい、小学校、中学校の児童生徒について、そういった状況があるということを考慮して、保健室できちっと備えておく必要があると、私は思っています。それから、先ほど水島先生の話もありましたように、トイレットペーパーが設置されているのと同様に、市内のトイレや公共施設のトイレの女子用のものには、やはり生理用品が置かれて当然ではないかなという気持ちをすごく持っています。

提言して、一朝一夕にさっと片付く問題ではありませんけれども、そういった問題意識の中で、対応を少しでも前進させていただきたいというのが、請願の趣旨でありますので、その趣旨を受けとめていただいて、請願については賛成いただければ大変ありがたいと思います。

以上です。

岡田教育長

請願者の説明は終わりました。

各委員から何か、請願者に対して質問することはございますか。

よろしいですか。

それでは、請願者の方、ありがとうございました。

暫時休憩いたします。

休 憩（14時34分）

再 開（14時34分）

岡田教育長

それでは、再開をいたします。

これより質疑を行います。

武内委員

請願者のお言葉の中に、学務課長から、小中学校においては、こういうふうなことをしているというのを聞いたと伺ったのですけれども、どのようなことをしているというお話をされたのでしょうか。請願者の方の請願の趣旨というか、こういうことを考えていくことが大事で、考えていかないといけない問題だということについては、よく分かりましたので、それに関する小中学校の現状について、少し具体的に把握できている部分がありましたら教えてください。

中坂学務課長

全小中学校の保健室等に生理用品を備え付けておりまして、急に生理になった児童生徒へ応急的に配布をしているところでございます。

武内委員

それは、求めてくる子どもたちに対して、ただ渡すだけじゃなくて、やはりその家庭的な背景とか子どもの心理とかを、保健室の中で考えながら渡していくというふうな様子なのでしょうね。

中坂学務課長

不安を感じている児童生徒は、保健室に相談に来ている状況であり、困ったときいつでも相談に乗れるように、日ごろから周知を行っている聞いております。

堀村委員

確認なのですが、その配布は無料で行われて、いつでももらいたいときに行けばもらえるという状況になっているのですよね。保健室に来られたときに、保健室の先生は、生徒児童の様子などの聞き取りなどはされるのでしょうか。

中坂学務課長

家庭であまり手をかけてもらっていない生徒等も、よく保健室に生理用品をもらいに来ると聞いております。そのときにデリケートな話をするきっかけになるので、快く受け入れている学校もあると聞いております。

篠永委員

実際に茨木市域の小学校、中学校に限って言うと、どれぐらいの生徒さんが、そういうサービスというのか支援というのか言葉に迷いますけれども、そういう場面があるのかは把握できているのでしょうか。

中坂学務課長

人数についてなんですけれども、何人ぐらいがというような具体的なところは把握できておりません。

篠永委員

学校の保健室に備え付けていただいているという、その生理用品がどういう財源から出ているのかは、計り知るところではないのですが、ごお願いいただいていることについて市全体で話すべきかとは思いますが、災害対策として各救護所、避難所に、生理用品というのは備蓄されておりますが、他市のニュースで最近報道があり、目に留まったのですが、これを定期的に入れ替えているとお聞きしておりますので、そういったものも活用して、決して期限切れのものを支給するというわけではないのですが、保健室の常備などにもそういったものを活用するような大きな仕組みを作ってくださいという意味では、市全体として取り上げるというのも1つの方法なのかなとは思っています。

前川委員

小中学校で教育上の配慮というのは現在もされているということが一定分かりました。引き続き、丁寧な対応をお願いしたいと思います。

しかし、今回の請願の中で求められている内容は、教育上の配慮だけでなく、先ほど請願者からもご説明がありましたように、子どもの貧困問題、また女性の貧困問題であり、少し質の違いがあるように思います。教育委員会単独で判断するのはなかなか

難しい問題だと感じています。市全体として検討すべき課題ではないかと思います。

同じような内容の請願というのは、市長部局にも出されているのでしょうか。

中坂学務課長

同様の請願は、市長部局には出ておりません。

前川委員

子どもの貧困や女性の貧困の問題というのは、行政上の大きな課題だと思っています。市全体でどう対応するのかを精査して、議論すべき課題ではないでしょうか。今回の請願の内容というのは、教育委員会の権限を越えているのではないかと、私自身は少し感じております。

岡田教育長

ほかに、事務局に何か聞きたいことはありますか。

篠永委員

とても大事なご請願だとは思いますが、茨木市域で、私も先ほど質問させていただきましたが、実際にどれぐらいの子どもたちが困っているかという実態調査というのは、やはり市全体で意識を持って取り組むべきであって、それに教育委員会が参加するというのをぜひしないといけないと思いますし、その情報をまず収集して、茨木市の貧困で本当に困っていることは、本当にこれだけなのかという視点にも立つ必要があります。つい先日ですか、国の調査の結果のニュースがありまして、ヤングケアラーというのがすごく話題になっておりまして、本日の請願とは違うのですがけれども、家の介護や子育てを手伝ったりする子どもに関するかなり詳細なデータが上ってきています。茨木市域でまずどこから支援を差し伸べないといけないかということは、やはり市全体としての精査の枠組みの中で考えるべきで、その中の1つとして本日のご請願ももちろん大きな部分を占めているとは思いますが、少し大きな視点で市全体として取り上げていただく中でお考えいただければと思っております。

武内委員

今の篠永先生のお話とも関連すると思うのですが、学校で困っているときに保健室に

もらいに行くときには、ただポンと渡すだけでなく、その生活背景とか家庭のいろんなことを掴みながら子どもの指導に当たるといようなことができていると思います。ただ、普通の公共施設に置いておいて、使いたい人が自由に使うというのはいいと思うのですけれども、自分で買えなくてそれを使うということは、その裏にはやはり何らかの問題があつて、そうせざるを得なくなっているのではないかなと思います。そういう茨木市全体の福祉的なことも関連しながら見ていかないといけない問題であり、ただ配布をするということ、それだけの問題にはとどまらないと思います。もう少し大きな視点で、茨木市民がどうなのだとするところと関連付けて考えていく必要があります、教育委員会に請願を出されたから教育委員会で何とかしましょうという問題ではないと思います。これにはやはり予算が伴うことになり、市民の税金の中から使うということになると思うので、そのあたりも考えて、もう少し大きな課題として考えていただくほうがいいのかと思います。教育委員会での判断の範疇を超えているような気がします。

岡田教育長

質疑の中で、各委員の賛否の意見というのは、もう出てきたかなと思いますけれども、賛否及び意見を求めたいと思います。ほか、特にご意見ございませんか。

私自身も、子どもの貧困問題は、重要な課題であつて、委員会としても取り組んでいかなければならない部分かなとは思っています。それから、女性の貧困問題もこれからの行政の大きな課題になってくるかなと思います。コロナ禍では、やはり一番のしわ寄せというのは女性のところに来ると認識はさせていただいています。

ただ、先ほどご意見もいろいろありましたように、大きく捉えますと、やはり市全体の問題というか、福祉部門との連携も含めて対応していかざるを得ない問題かなと思っています。根本的な課題解決に向けて、やはり市長部局と委員会が連携していくところも大切かなと思います。

小中学校での対応については、学校現場に説明させてもらって、備蓄もあり、それを配布していくというところで、ある程度進んでおります。先ほど学務課長や武内委員からもありましたように、やはり教育的な観点で、その子どもたちの生活の背景を知って、どう取り組んでいくかというのは、本当に大切な部分です。そういう重要な課題の中で、養護教諭を中心に学校で様々な個別の寄り添いをしていただいているところなので、その中で生理用品も含めて、丁寧に対応していただいていると私自身も

思っています。

請願の中にありますように、小中学校の中での教育上の配慮の問題というより、もう少し大きく捉えて、子どもの貧困とかあるいは女性の貧困、その部分を含めて、教育委員会だけで判断をするのはなかなか難しい。やはり市全体での論議が必要であり、問題意識を持ってやっていかないといけないかなと思っています。

今までお聞きしていますと、やはり市全体の論議の中で、ある程度の施策を持っていく方向性が必要かなというご意見があり、逆に言えば、委員会だけでなかなかそれを解決していくのは難しいという部分もございます。委員のほうからは、本件について不採択という意味あいのところが多かったと思うのですが、そのあたりはどうでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

それでは、それぞれの意見を今までお聞きして、本件につきましては、不採択とすることとしたいと思えますけれども、ご異議ございませんでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

異議なしと認めます。

よって、請願第1号については、不採択と決定させていただきます。

日程第6 議案第15号「中学校給食推進チームにおける職員の兼職に関する協議について」及び日程第7 議案第16号「職員人事について」を議題といたします。

以上2件は、関連する議案のため、一括して審議をし、個別に採決することといたしたいと思えますが、ご異議ございませんでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

異議なしと認め、以上2件は一括して審議し、個別に採決することといたします。

武内委員

議案第15号及び第16号は人事案件なので、非公開をお願いします。

岡田教育長

ただいま武内委員から非公開の動議が提出されましたが、本件を非公開とすることに異議ございませんか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

異議なしと認めまして、本件につきましては非公開といたします。

関係者以外の方の退室をお願いいたします。

暫時休憩いたします。

<非公開>

岡田教育長

ただいまより、各委員の賛否及び意見を求めます。

まず、議案第15号「中学校給食推進チームにおける職員の兼職に関する協議について」をお諮りいたします。

(各委員「原案賛成」の発言あり)

岡田教育長

各委員のご意見は原案に対して賛成であります。

本件は原案のとおり決することに異議ございませんか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

異議なしと認めます。

よって、議案第15号は原案のとおり可決されました。

次に、議案第16号「職員人事について」をお諮りいたします。

(各委員「原案賛成」の発言あり)

岡田教育長

各委員のご意見は原案に対して賛成であります。

本件は原案のとおり決することに異議ございませんか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

異議なしと認めます。

よって、議案第16号は原案のとおり、可決されました。

以上をもちまして、本日の議事日程は全部終了いたしました。

令和3年第5回茨木市教育委員会定例会を閉会いたします。ご苦労さまでした。

(15時05分 閉会)

以上会議の顛末を記載し、茨木市教育委員会会議規則第17条によりここに署名する。

令和3年4月21日

茨 木 市 教 育 委 員 会

教 育 長 _____

署 名 委 員 _____

令和3年第5回茨木市教育委員会定例会事務報告

令和3年3月6日～令和3年4月9日

	行 事 名	場 所	出 席 者	担 当 課
3月6日(土)	青少年健全育成研修会 (参加者：80人) ※会場参加10人、オンライン参加70人	クリエイトセンター 301号室 (オンライン併用)	関係職員	社会教育 振興課
3月6日(土)	深見遺跡現地見学会 (参加者：335人)	旧中央公園南グラウンド	関係職員	歴史文化 財課
3月13日(土)	第2土曜科学教室「目に見えない汚れの大調査！」 (参加者：13人)	クリエイトセンター	関係職員	教育セン ター
3月20日(土) 3月21日(日)	プチ体験！キャンプ教室 (参加者：63人)	青少年野外活動センター	関係職員	社会教育 振興課
3月20日(土) 3月21日(日)	ボランティアキャンプ (参加者：38人)	青少年野外活動センター	関係職員	社会教育 振興課
3月21日(日) 3月28日(日)	フォローアップ読み聞かせ講座 (開催回数：2回 参加者：延べ30人)	中央図書館ほか	関係職員	中央図書 館
3月6日(土) ～ 4月8日(木)	おはなし会 (開催回数：10回 参加者：延べ163人)	中央図書館ほか	関係職員	中央図書 館